

「親が元気なうちに考える、子どもの未来」 ～グループホームについて考える～

子どもの将来の居場所は誰もが心配していることだと思います。具体的にグループホームを考えている方も多いと思います。12月10日に日本自閉症協会・常任理事、静岡県自閉症協会会長で、静岡県でグループホームを運営されている津田明雄さんに熊本へお越しいただき、講演会を開催します。グループホームに関する法制度も大きく変わりますので、みんなで子どもの暮らす場所を考える機会にしたいと思います。質疑応答時間を用意しています。グループホームに関してわからないこと、疑問に思っていることなどをお聞きください。

日 時 2023年12月10日(日)

講演会 13:30～15:30、質疑応答 15:30～16:30

会 場 熊本市現代美術館 アートロフト

熊本市中央区上通町2番3号

講 師 津田 明雄 氏

39才になる自閉症の娘の父親

日本自閉症協会 常任理事

静岡県自閉症協会 会長 <https://www.facebook.com/asj.shizuoka/>

特定非営利活動法人クローバー（グループホーム、事業所、放デイ運営）会長
ホームページ <http://npo-clover.org/>

定 員 70名（先着順）

会 費 熊本県自閉スペクトラム症協会会員：無料、会員外：1,000円

申し込み 講演会申し込みサイト「こくちーず」（右のQRコード）

またはメール ask@autism-kumamoto.org



講演の要旨

子どもの将来が心配だから、グループホームのことを勉強したいという方が増えてきました。自閉スペクトラム症の特性からグループホームでみんなと一緒に仲良くやっていけるだろうかと、心配です。また、料理、洗濯、入浴、病気になった時、金銭管理など、いろいろなことが気になります。

特定非営利活動法人「クローバー」では、グループホームの建屋の構造や職員の配置などの工夫により、一人ひとりの特性に応じた支援をおこなっています。グループホームは夜間から朝にかけての支援が中心ですが、安定し、安心して、楽しく生活をするためには、日中も含めて総合的に考えることが大切です。

今回の講演会では、クローバーで運営しているグループホームを中心にしながら、生活介護や就労継続支援B型なども含めた取り組みをご紹介させていただき、「親が元気なうちに考える、子どもの未来」について、一緒に考える場にさせていただきたいと思います。

